

JAF もてぎ・菅生 FJ1500/Super FJ 選手権

Sugo Champion Cup Race Series Rd.4

2026 年 7 月 18 日 天候:曇りのち雨 参加 FJ1500/6 台、S-FJ/8 台



テキスト:はた☆なおゆき

もてぎ・菅生シリーズの 2026 シーズンは全7戦での戦いとなり、今回はその5戦目。スポーツランド SUGO では 4 月以来の開催となる。そして、全国転戦の FJ ジャパンリーグは、これが第4戦目になる。FJ ジャパンリーグの FJ1500 は#52 酒井翔太選手(ファーストガレージ)がトップながら、前回富士のレース 2、第3戦が意外にも初優勝。第2戦を制した#38 吉田馨選手(Hobby Base & MYST)が 5 ポイント差、8 ポイント差で#77 YUSEI MITSUYAMA 選手(F ガレージ丸和精光 KK-F)が追う展開となっている。そしてスーパーFJ は切替悠喜選手がトップながら、今回は出場せず。ランキング上位陣では 5 位の#67 磐上隼斗選手(アルビレックス富士吟景 GIA・ED)だけが出場している。

■公式予選

今回は予選、決勝を土曜日に行う1デイ開催。金曜日にスポーツ走行が行われたが、SUGO は深い霧に包まれ、ほとんど走れず。土曜日にも雨予報が出て、天候が心配されたものの、なんとか予選はドライコンディションでの走行が許された。

FJ1500 は6台が、スーパーFJ は1台が取り消したものの、8台がエントリー。普段は遅れてコースインする#52 酒井選手も、今回は1コーナー寄りのピットだったこともあり、早めにコースイン。アウトラップを終えると先頭で戻ってくる。そして計測 1 周目から1分 30 秒 866 を記すも、これを上回ってきたのが#38 吉田選手で、1分 29 秒 774 をマークする。

だが、次の周に#52 酒井選手は1分 29 秒 798 を出したのに対し、#38 吉田選手は 1 分 28 秒 978

で2番手に。そこから先は、#52 酒井選手が終始リード。2分28秒249、2分28秒084、2分28秒011と順調にタイムを縮め続け、2週のクールダウンを挟んで、ラスト2周はついに1分28秒台を切るまでに。1分27秒994を記した後に、だめ押しの一発となる1分27秒895を叩き出して、これを新たなレコードタイムとした。

一方、#38 吉田選手は一時、#14 鈴木大翔選手の先行を許す一幕もあったが、ラストアタックで1分28秒214をマークして2番手に返り咲く。逆に#14 鈴木選手は最後のアタックがタイムダウン、その前の周に記していた1分28秒389で3番手となった。

一方、スーパーFJでは#33 小林留魁選手が計測3周目にトップに立って、そのままタイムを縮め続ける。ラストアタックで1分29秒190を記録したものの、最後の最後に逆転したのは#2 松下彰臣選手だった。1分29秒074までタイムを一気に伸ばして、クラスポールを獲得した。総合では5番手で、これに#33 小林選手が続き、総合8番手でクラス3番手は、1分29秒442の#81 木幡直生選手(群馬トヨペット RiNoA アイザワ ED)。そして#67 磐上選手、#43 大川烈弥選手という順となった。

FJ1500 ポールポジション：#52 酒井翔太選手(ファーストガレージ)

「(吉田)馨選手も最後の方でタイム出ていたので、走れば走るほどタイムが上がっていった感じなんで、もうちょっと最後行けるかな、って思っていたんですが、ちょっとミスっちゃって、コンマ1秒ぐらい失っちゃったのかなって感じがありました。どっちにしろ、ポールは獲れたので、そこは良かったと思います。馨選手は序盤から速いドライバーなので、そこは気を抜かないように、序盤から集中して走ろうと思います」



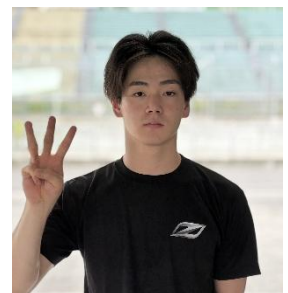
FJ1500 予選2番手：#38 吉田馨選手(Hobby Base & MYST)

「コンディションは良くなっていったと思います、最後の方が。まだまだ全然詰められていないところがあるので、序盤は改善できることを改善して、決勝、頑張ります。走り甲斐はあるけど、ドキドキです。勝たないといけませんね」



FJ1500 予選3番手：#14 鈴木大翔選手(ZAP SPEED KK-F)

「後半、みんな上がってきましたが、後半ガソリンが軽くなってきたからじゃないですか？ そこが大きいと思います、自分は。前日の練習は霧であんまり走れなかったんですが、その割には好感触だったんですけど、その感じをセクター2で再現できなくて、そこでちょっとタイム失って、コンマ6秒、トップから遅れちゃったのかな、って感じがします。改善点は見えているので、決勝ではレースペースを良くして、トップ狙っていきたいです」



スーパーFJ 予選トップ: #2 松下彰臣選手(Abel HOSHO&PARM ZAP 10VED)

「最終コーナーを、自分の課題を確認しつつ走っていたので、そこがちょっと噛み合わなくて、セットも変えてもらったのもあるんですが、それで適応するのに遅れてしまって。でも、最後の方は自分のペースに戻ってきたので、いい走りだったのかなと思います。本当に最後の2周はイメージに近い形で終われました。決勝も頑張ります」



スーパーFJ 予選2番手: #33 小林留魁選手(アルビ新潟第一ホテル GIA ED)

「一応、自分の中でもけっこうミスが多くて、まとまった周がなくて、それが最後に逆転された原因かなと思います。路面がちょっとサラサラだったのかな？ で、微妙にリリースがちょっと難しくて、合わせられなかったですね。今、一応ポイントリーダーです。1ポイントだけ。もう、今日は頑張ります、決勝！」



スーパーFJ 予選3番手: #81 木幡直生選手(群馬トヨペット RiNoA アイザワ ED)

「全体的にまとめきれなくて、うまくいったと思ったら、どこかしらミスしちゃって、伸ばせなかったって感じでした。改善点は見えています。決勝ではスタートで、ロケットスタート決めて逃げたいですね。スタートは苦手ではないです」



■決勝レース

それまでも上空から、いつ雨が降り出してもおかしくない状況だったが、FJの決勝スタート進行が始まる直前に小雨が降り出し、いざグリッドに着こうというタイミングで、本格的な雨に転じてしまう。全車、スリックタイヤのままコースイン。メカニックはレインタイヤをグリッドに運んで、ドライバーの意見を聞くこともなく交換する。

結局、全車レインタイヤで挑むこととなり、レースはセーフティカースタートでの開始に。2周の先導の後に、ルーフ上のランプが消灯。

ポールシッターの#52 酒井選手は、SP コーナーインから早くも加速を開始すると、これに着いていけたのは#38 吉田選手だけだった。

その後方では#14 鈴木選手に#77 MITSUYAMA 選手が迫り、1コーナーでアタックをかけるも、逆転ならず。この2台に続いたのが、スーパーFJ トップの



#2 松下選手ながら、1コーナーで#33 小林選手にかわされてしまう。

雨がどんどん勢いを増す中、一騎討ちでのトップ争いが許されたのは4周目までだった。#38 吉田選手が馬の背コーナーのコースアウトで遅れると、#52 酒井選手は独走体制に。

その後方で激しくなっていたのが、#14 鈴木選手と#33 小林選手による4番手争いだ。4周目に#77

MITSUYAMA 選手をかわしていた#33 小林選手は、クラスの垣根を超えて#14 鈴木選手に迫っていく。1コーナーで何度もアウトから被せて並んでいくも、#14 鈴木選手のガードは固く、なかなか抜き去るまでには至らない。

そしてスーパーFJ の 2 番手は#43 大川選手。ところがセーフティカーラン中にオーバーランがあったことで、30 秒加算のタイムペナルティがアナウンスされてしまう。これで事実上の 2 番手に戻したはずの#2 松下選手だったものの、10 周目の最終コーナーでコースアウトして順位を落とすことに。代わって順位を上げたのは#67 磐上選手だ。

その間にも、ひとりクルージングを楽しむかのように快走を重ねたのが#52 酒井選手。最後は 12 秒もの差をつけ、ジャパンリーグ 2 連勝、もてぎ・菅生シリーズでの今季初優勝を飾ることとなった。2 位は#38 吉田選手。

#14 鈴木選手と#33 小林選手のバトルは最後まで続くも、順位の入替はなし。
#14 鈴木選手が FJ1500 の 3 位を獲得し、#33 小林選手がもてぎ・菅生シリーズのスーパーFJ で 2 勝目をマーク。#33 小林選手に続いてゴールしたのは#43 大川選手ながら、前述のとおりタイムペナルティを課せられるも、それまで稼いだ貯金によって、なんとか 3 位に踏み留まることに。2 位に順位を上げたのは、#67 磐上選手だった。



また、3台が臨んだマスターズクラスでは、予選トップの#16 青合正博選手(Team HERO'S Rn SPORT)が、#4 古里拓選手(HOLOS レヴレーシングガレージ)の猛攻を最後まで凌ぎ切って、優勝を飾っている。

次回のもてぎ・菅生シリーズは 9 月 13 日にもてぎで、ジャパンリーグは 8 月 13 日に筑波サーキットで開催される。いずれも激戦を期待したい。





FJ1500 優勝: #52 酒井翔太選手(ファーストガレージ)

「思ったよりも急に降ってきたので、その割にはそこそこ普通に走れたんですが、急な路面のコンディション変化にびっくりしました。これだけ引き離せたので良かったです」

FJ1500 2位: #38 吉田馨選手(Hobby Base & MYST)

「いや～、天候がややこしかったですね。馬の背でスピンしました。このままじゃ追いつかないので、攻めていこうと思って攻めていったら、行き過ぎちゃいました。本当は畠山選手がこの車が出るはずだったので、急に決まったんで、しょうがないんですけどね。この後のFJは、日本一だけは出ます」

FJ1500 3位: 鈴木大翔選手(ZAP SPEED KK-F)

「力のなさを感じるレースでした。前には離されてしまって。まあ、(スーパーFJ)の小林選手を抑え続けたものの)あしなくても離せるぐらいの力をつけたいですけどね」



スーパーFJ 優勝: #33 小林留魁選手(アルビ新潟第一ホテル GIA ED)

「SC 明けで、前がゆっくりだったんで、抜きそうだったんですが、一回下がって。計測ラインまでギリギリ待って抜いた感じだったんですけど。そこから、自分的にも全然ペースなかったんですけど、後ろがついてこなかったんで、実感ない 1 位って感じですね。(FJ1500 の鈴木選手に対して)インから行こうかと思ったけど、クラス違いで変なことしないように、とも思いました」

スーパーFJ 2 位: #67 磐上隼斗選手(アルビレックス富士吟景 GIA・ED)

「タイヤ選択を間違えたんですよ。フォーメーションの時からタイヤがグリップしなくて、『うわっ、厳しいな』って思って。浅溝です、前回の富士で使ったタイヤで、僕だけレインだったじゃないですか？ あれ履いていったんですけど、思ったより土砂降りになっちゃったんで、やっちゃった～という感じでした。1 位の留魁にも、烈弥さんともいいレースできるかなと思ったんですけど、僕だけ置いていかれて、ひとりで走るの、すごく寂しかったですね」

スーパーFJ 3 位: #43 大川烈弥選手(B-Auto & TAKE FIRST)

「ちょっと僕のミスもあり、いろいろあって予選では沈んじゃって、決勝で何があるかわからないんで、決勝で追い抜こうと思っていたんですが、見事に雨が降って、なんかペース的に序盤から悪くないなあって思っていたんですが、僕のくだらないミスでペナルティもらっちゃったり、タイム落としてたりで、なんやかんやこの順位になっちゃったんで、心残り、悔しいというか情けないというのが本当のところですね。まだ終わっていないので、また頑張ります」



マスターズクラス優勝: #16 青合正博選手(TEAM HERO' S Rn SPORT)

「マスターズでは初優勝です。天気が急変して大変でした。今までずっとレースしてきているんですけど、SUGO の初めての雨が決勝だったので、どこに川ができるか、路面状況がどうか全然わからなかったの、とりあえず古里さんを抑えることだけを考えて走りました。変に攻めることなく、後ろの古里さんを守ることを。そういうレースでした！」



レーススケジュール

Rd.1	5月17日	岡山国際サーキット	OKAYAMAチャレンジカップレース
Rd.2	6月21日	富士スピードウェイ	富士チャンピオンレース
Rd.3	6月21日	富士スピードウェイ	富士チャンピオンレース
Rd.4	7月18日	スポーツランドSUGO	SUGOチャンピオンカップレース
Rd.5	8月30日	筑波サーキット	筑波チャレンジクラブマンレース
Rd.6	9月13日	オートポリス	ゴールドカップレース
Rd.7	10月4日	鈴鹿サーキット	鈴鹿チャンピオンカップレース
Final	11月22日	モビリティリゾートもてぎ	もてぎチャンピオンカップレース

ポイントランキング

[illegible]

レーススケジュール

Rd.1	5月17日	岡山国際サーキット	OKAYAMAチャレンジカップレース
Rd.2	6月21日	富士スピードウェイ	富士チャンピオンレース
Rd.3	6月21日	富士スピードウェイ	富士チャンピオンレース
Rd.4	7月18日	スポーツランドSUGO	SUGOチャンピオンカップレース
Rd.5	8月30日	筑波サーキット	筑波チャレンジクラブマンレース
Rd.6	9月13日	オートポリス	ゴールドカップレース
Rd.7	10月4日	鈴鹿サーキット	鈴鹿チャンピオンカップレース
Final	11月22日	モビリティリゾートもてぎ	もてぎチャンピオンカップレース

ポイントランキング

[illegible]

2026 SUGO Champion Cup Race Series Rd.4

2026.7.18-19

2026 JAF SUGO CIRCUIT TRIAL CHAMPIONSHIP Rd.3



公認：一般社団法人 日本自動車連盟 (JAF) 主催：株式会社菅生/菅生レーシングスポーツクラブ (SRSC)

主催：株式会社菅生/菅生レーシングスポーツクラブ

2026 SUGO Champion Cup Race Series Rd.4 JAFもてぎ・菅生FJ1500/スーパーFJ選手権シリーズ 第5戦・FJシヤハシリーズ Rd.4 公式予選 正式結果表 <改訂版>

START : 9:00:00

FINISH : 9:15:00

2026. 07. 18	SUGO INTERNATIONAL RACING COURSE (3.5865km)					天候：曇り	コース状況：ドライ		発表	:
Pos	No.	Class	Driver	Type	Team	BestTime	Ave. Km/h	Laps	Behind	
1	52	FJ15	1 酒井 翔太	FJ1500	ファーストガレージ	1' 27.895 NR	146.896	9/10		
2	38	FJ15	2 吉田 馨	KKF	Hobbybase&MYST	1' 28.214	146.365	9/ 9	0.319	
3	14	FJ15	3 鈴木 大翔	KKF	ZAP SPEED KK-F	1' 28.583	145.755	6/ 9	0.688	
4	77	FJ15	4 YUSEI MITSUYAMA	MYSTKK-F	Fガレージ 丸和精光KK-F	1' 28.985	145.096	7/ 9	1.090	
5	2	SFJ	1 松下 彰臣	RD10V	Abe! HOSHIO&PARM ZAP 10VED	1' 29.074	144.951	9/ 9	1.179	
6	33	SFJ	2 小林 留魁	KKS2	7Mビ新潟第一村MGIAED	1' 29.190	144.763	9/ 9	1.295	
7	81	SFJ	3 木幡 直生	KKS-2	群馬トヨペットTeam RiNoA アイザワED	1' 29.442	144.355	8/ 9	1.547	
8 ※1	48	FJ15	5 村上 太晟	KK-F	ファーストガレージ BLAU KK-F	1' 29.703	143.935	8/ 9	1.808	
9	43	SFJ	4 大川 烈弥	KK-S2	B-Auto&TAKE FIRST	1' 29.846	143.706	9/ 9	1.951	
10 ※2	67	SFJ	5 磐上 隼斗	KKS2	7Mビレックス富士吟景GIA-ED	1' 29.973	143.503	8/ 9	2.078	
11	16	FJ15	6 G 青合 正博	FJ1500	TEAM HERO'S Rn SPORT	1' 30.692	142.365	9/ 9	2.797	
12	4	SFJ	6 G 古里 拓	KK-S II	HOLOSIガレーシングガレージ	1' 31.520	141.077	8/ 9	3.625	
13	36	SFJ	7 土屋 草太	RD10V	Albirex-RT RD10V ED	1' 32.371	139.778	5/ 9	4.476	
14	7	SFJ	8 G 野口 伸周	RD10V	野口商會ZAP10VED	1' 34.006	137.347	5/ 9	6.111	

----- 以上予選通過 -----

参加台数：14台 出走台数：14台

予選通過基準タイム (SFJ:130%)1'56.006 (FJ15:130%)1'54.700

NRマークの車両は、NEWレコードを記録しました。(FJ15)

改定理由：誤記訂正

No.14 2026 SUGO-SpR 24.3.1)「走路外走行」当該タイム(1'28.389)不採用

※1 No.48 L項4.6.c)「ホワイトラインカット(ヒット出口)」ベストタイム(1'29.288)削除(裁定時刻 09:06)

※2 No.67 L項4.4.d)「ホワイトラインカット(ヒット入口)」ベストタイム(1'29.813)削除(裁定時刻 09:21)

2026 SUGO Champion Cup Race Series Rd.4

2026.7.18-19

2026 JAF SUGO CIRCUIT TRIAL CHAMPIONSHIP Rd.3

公認：一般社団法人 日本自動車連盟 (JAF) 主催：株式会社菅生/菅生レーシングスポーツクラブ (SRSC)



主催：株式会社菅生/菅生レーシングスポーツクラブ

2026 SUGO Champion Cup Race Series Rd.4
JAFもてぎ・菅生FJ1500/スーパーFJ選手権シリーズ 第5戦・FJシヤハンリーグ Rd.4
公式予選 正式結果表 <改訂版>

START : 9:00:00

FINISH : 9:15:00

2026.07.18		SUGO INTERNATIONAL RACING COURSE (3.5865km)				天候：曇り	コース状況：ドライ		発表	
Pos	No.	Class	Driver	Type	Team	BestTime	Ave. Km/h	Laps	Behind	
1	52	FJ15	1 酒井 翔太	FJ1500	ファーストガレージ	1'27.895 NR	146.896	9/10		
2	38	FJ15	2 吉田 馨	KKF	Hobbybase&MYST	1'28.214	146.365	9/9	0.319	
3	14	FJ15	3 鈴木 大翔	KKF	ZAP SPEED KK-F	1'28.583	145.755	6/9	0.688	
4	77	FJ15	4 YUSEI MITSUYAMA	MYSTKK-F	FGレーシング 丸和精光KK-F	1'28.985	145.096	7/9	1.090	
5	2	SFJ	1 松下 彰臣	RD10V	Abel HOSHIO&PARM ZAP 10VED	1'29.074	144.951	9/9	1.179	
6	33	SFJ	2 小林 留魁	KKS2	7Mビ新湯第一村AGIAED	1'29.190	144.763	9/9	1.295	
7	81	SFJ	3 木幡 直生	KKS-2	群馬トヨペットTeam RiNoA 7イグワED	1'29.442	144.355	8/9	1.547	
8 ※1	48	FJ15	5 村上 太晟	KK-F	ファーストガレージ BLAU KK-F	1'29.703	143.935	8/9	1.808	
9	43	SFJ	4 大川 烈弥	KK-S2	B-Auto&TAKE FIRST	1'29.846	143.706	9/9	1.951	
10 ※2	67	SFJ	5 磐上 隼斗	KKS2	7Mビレックス富士吟景GIA・ED	1'29.973	143.503	8/9	2.078	
11	16	FJ15	6 G 青合 正博	FJ1500	TEAM HERO'S Rn SPORT	1'30.692	142.365	9/9	2.797	
12	4	SFJ	6 G 古里 拓	KK-S II	HOLOSレーシング ガレージ	1'31.520	141.077	8/9	3.625	
13	36	SFJ	7 土屋 草太	RD10V	Albirex-RT RD10V ED	1'32.371	139.778	5/9	4.476	
14	7	SFJ	8 G 野口 伸周	RD10V	野口商会ZAP10VED	1'34.006	137.347	5/9	6.111	

----- 以上予選通過 -----

参加台数：14台 出走台数：14台

予選通過基準タイム (SFJ:130%)1'56.006 (FJ15:130%)1'54.700

NRマークの車両は、NEWレコードを記録しました。(FJ15)

改定理由：誤記訂正

No.14 2026 SUGO-SpR 24.3.1)「走路外走行」当該タイム(1'28.389)不採用

※1 No.48 L項4.6.c)「ネットラインカット(ヒット出口)」ベストタイム(1'29.288)削除(裁定時刻 09:06)

※2 No.67 L項4.4.d)「ネットラインカット(ヒット入口)」ベストタイム(1'29.813)削除(裁定時刻 09:21)

